

キャラクター名

花形 慶(ハナガタ ケイ)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ブラム＝ストーカー		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプショナル		年齢	17	性別	男
覚醒	命令	衝動	妄想		初期侵食率	29%
出自	権力者の血統		経験	逃走	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	3	1	3			7	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			R C	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		渡部家	P 尽力	N 嫌悪	
		花形組	P 憧憬	N 疎外感	
		恵くん	P 幸福感	N 嫉妬	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P: 2 残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンソントレイト(ブラムストーカー)	3	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：クリティカル値-LV(下限7)								
渴きの主	2	4	Xジャー	至近	単体	白兵	-	
効果：装甲無視。命中時(LV×4)のHP回復。								
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：命中-1 攻撃力+(LV+5) ガード値6								
伸縮腕	1	2	Xジャー	視界	対決	白兵	-	
効果：白兵の射程を視界に。ゲイス-(3-LV)個。								
ジャイアントグロウス	1	5	Xジャー	武器	範囲(選択)	白兵	100↑	
効果：範囲(選択)化。攻撃力+2D。シナリオLV回。								
ブラッドリーディング	★	-	Xジャー	至近	単体	自動	-	
効果：血や体液から対象者の情報を読み取る。								
異形の歩み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：どんな場所でも移動可。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

生まれた時から、家の跡継ぎとして厳格に育てられてきた。家のことを詳しくは知らない。ただ、一般的な家庭より金銭的に裕福な家庭だということは分かっていた。父は僕に課題を命令する。父曰く、「この家を継ぐに相応しい立派な人間になるため」の教育だと。それは勉強だったり、運動だったり様々だった。僕の人生の大半は父の命令通りに課題をこなす日々だった。課題を達成しても褒めてもらえるわけではないが、課題を達成できれば目に見えて父の機嫌は悪くなる。それにいつか、もしかしたら褒めてくれる日が来るかもしれない。そう思うと、まだ頑張れる気がした。

…母は僕に特に興味がないようだった。

15歳の誕生日の日、弟が生まれた。父も母も笑っていた。弟が生まれたことは僕も嬉しかった。父から「お前は不要になった」と伝えられるまでは。あんなに厳しかった父が、弟には笑いかけている。僕には全く興味を示さなかった母が、あんなにも穏やかな笑みで弟を見ている。ああ、本当に僕は要らないんだと実感した。もう父から課題を命じられることもない。無理に課題を頑張る必要はない。課題を達成できずに殴られることもない。友達だって自由につくれるかもしれない。でも、命令されるだけの人生だった僕はもうどうしたら良い？ どうしたら…

……………  
……  
…  
目の前が真っ赤に染まり、抑えようのない感情が爆発するのを感じた。